

会員と千葉県連盟をつなぐ

ちばニュース

2019年 6月号



千葉県勤労者山岳連盟

Chiba Workers Alpin Federation

2019年 6月1日発行 通巻314号

仲間と一緒に

夏山を楽しもう！

6月号目次

・ 目 次	2
・ リレーエッセー市川山の会山行報告	3
・ ハイキング委員会報告	4
・ クリーンハイク実施報告	5
・ メガソーラ通信（N O 6）	6
・ 全国ハイキング学校案内	8
・ 県連たより	9
・ 6月・7月 予定表	10

表 紙 説 明

愛鷹山は、目にしている名前も知らなくても富士山とのツーショットで目にしている、日本200名山の一つです。

三保の松原から、駿河湾越しに富士山と1,000m級の山が連なる眺めは絶景である。

市川山の会は、毎月定例山行中心に仲間との交流を大事しています。表紙の写真からもその楽しさが伝わってきます。

—— 編集者 ——

愛鷹山山行記

松宮 俊一（市川山の会）

5月19日〈日〉うす曇り 市川山の会5月例会。めざすは静岡県のアシタカツツジ。期待は富士山の大展望と固有種のアシタカツツジ。

西船橋駅6時10分出発。参加者は、男性9人、女性17人の26人。バスは首都高・東名高速を順調に走り、8時30分登山口の標高876mの十里木高原に着く。吹く風が涼しく気持ちがいい。越前岳は目の前、富士山は雲の中。キンポウゲが咲く草原で準備体操。

8時45分出発、3グループに分かれて高原の散策路を登る。漢詩人国府犀東の石碑を過ぎ、尾根伝いに登ると十里木高原展望台。振り返ると、雲の上から富士山が頭を出している。横山大観の日本画を思わせる巨大な富士山。しばし見とれる。

ここからは樹林の中の整備された緩やかな道を進む。道端にはミツバツツジの黄色い花。小一時間ほど歩くと馬の背。ここも展望ポイント、大休止。雲間から見える富士山の絶景を楽しみながら、水分・糖분을補給する。

馬の背を過ぎると樹林帯に入り、登山道も傾斜を増し、荒れてきた。踏跡が幾筋もあり正規のルートが分からない。ミズナラ、リョウブ、ヒメシャラ、アセビ、ミヤマシキミなどの広葉樹が多く、枝を大きく広げたブナの巨木も現れてきた。木々の間に咲くトウゴクミツバツツジやアシタカツツジ、ヤマツツジが美しい。林床にはマムシグサやスミレがひっそりと咲いている。シカを見たグループもあった。

1時間余り歩くと山道の傾斜も緩くなり、休んでいる人が見えてくるとそこが越前岳の頂上だった。二等三角点が置かれた1,504mの頂上からは、あいにく富士山は雲の中だったが、銀色に輝く相模湾や愛鷹の山々が望まれた。眼下のパッチワークのような緑の海が美しく、足元には白いモミジイチゴの花。手作りの祠の中には、毛糸の帽子をかぶったふくよかなお地蔵さん。誰が奉納したのだろうか。

展望を楽しみながらゆっくりと昼食、記念写真を撮り下山。もと来た道を下山しているつもりだったが道の様子が違うのに気づく。登山者に確かめると、馬の背から沢を挟んで二つのルートがあるとのこと。ほっとしてそのまま下る。ミツバツツジやトウゴクミツバツツジが登り道よりずっと多く、木々の新緑も美しい。ウグイスやシジュウカラも鳴いているが、姿は見えない。道も丸太などで整備されていて大変歩きやすい。沢を渡り登り道と合流して馬の背に着くと、今まで隠れていた富士山がまた雲の上から頭を現した。小学校唱歌の歌詞を思い出す。急いで記念写真を撮る。

午後1時30分全員無事下山。帰途、裾野市営の日帰り温泉で汗を流し、疲れを癒して帰路に就いた。振り返ると、今日登った愛鷹山越前岳が遥か遠くに臨まれた。東名高速も渋滞はほとんどなく、予定より早く西船橋に帰り着いた。天気は今一つだったが、富士山の絶景と満開のツツジが見られて大満足の山行になった。

2019年度 第1回ハイキング委員会

2019年5月14日（火）

出席者 桑原、小山、深草、羽鳥、伊藤、田中、松宮、金井、寺崎、 9名
新旧交代者紹介 小山（こまくさ）⇒金井敦子。 山内（ちば山の会）⇒寺崎真理・磯部菊子
よろしくお願いします。

1) 第36回 房総ロングハイキング

2020年1月25日（土）、26日（日） 募集する。七里川温泉 泊
コース 新コース（七里川）温泉―石尊山―岩場下―岩場（トラロープあり）―三角点（235m）―林道・大福線―産廃処理場―坂畑線より山道入り口（記念道標）―林道―山道―川越藩・横尾番所跡（竹藪の中）―最後の林道―手彫りトンネル2か所―亀山コミュニティーセンター―トンネル―亀山駅駐車場 歩行時間 約6時間30分・休憩含む
（温泉7:00出発―亀山駅13:30～14:00着）一応このコースに決定しました。
もう一度下見をする。 月日は次会決定する。

東葛地区 前日のコース考える。（浪花から御宿コース）下見の上決定する。
浪花駅～歴史の道～太平洋～御宿駅までのコース 月日 次会決定する。

2) ウィークデー山行 2019年4月11日（木）神成山（かなりさん） 終了
お陰様で無事に終了することが出来ました。
時間通りで、お花も観ることができ一応成功でした。
スタッフの皆様ご苦労様でした。
バス 東葛地区発 大型バス1台、40名 千葉発 中型バス1台 25名
現地直行1名 66名

次回のコース案

- 1) 清和県民の森（三島湖コース）クマガイソウ、エビネ他の花鑑賞
 - 2) メガネ橋等から廃線コース散策
 - 3) 玉原（たんばら）高原 湿原散策～尼ヶ禿山 リベンジ山行
次会から検討する。
- 3) ちばニュース掲載引き続き行いう事にする。 タイトル（山への想い）雑感
6月松宮、7月八巻、8月桑原、9月羽鳥、10月深草、11月山内、12月伊藤、1月金井、
2月田中、3月松宮、4月寺崎、5月磯崎、
※ 前月の20日までに「ちばニュース」当分の間、会長広木様メールまでお願いします。
その他

次回委員会 2019年7月9日（火） 18:00～ 県連事務所

県連統一クリーンハイク

& 鴨川メガソーラ建設予定地下見報告

千葉県連会長 広木 国昭（ちば山の会）

千葉県連統一クリーンハイクを実施しました。詳細については自然保護委員会より報告があると思います。

昨年と同じ金山ダム湖畔の道路沿いのゴミ回収を実施した。その後、鴨川メガソーラー建設予定地の尾根筋を歩いて貴重な南房総特有の自然にふれる事が出来た。この素晴らしい自然を守ることの重要性を改めて実感した。

今年には参加者が極端に少なかった事は残念であった。(3会より12人)
クリーンハイクは自然保護委員会を中心に計画・実施しているが、参加者が年々少なくなっている。いくつかの問題が考えられる ・実施計画が各会からの参加を考慮しているか ・会と会員のクリーンハイクへの関心が低下している等、自然保護を根本から考える必要がある。労山は創立以来、登山者の使命として自然保護に取り組んで来た。千葉県連は、房総の自然を守る運動に参加して大きな成果を残している。各会・会員の皆様に、労山の自然保護運動を考え、行動する事をお願いします。



本日の成果？

昨年と同じコースで実施したが、これだけのゴミがありました。車は入れるが生活ゴミの投棄は無く、耕作地があった時のゴミ類の放置が散見された。釣師のマナーは良くなっていると思われる。

鴨川メガソーラーについて

昼食時に「鴨川の山と川と海を守る会」代表から現状報告を受けた。

鴨川市と事業業者が、鴨川市田原地区における「太陽光発電事業着工に関する協定」を締結した。しかし、事業者の実態の公表、有害獣対策、市長は市議会に対し事実を公表せず、林地開発許可が出る前日に市議に協定締結を発表する等不誠実な対応があった。「県や市が許可を出したのではどうしようもない」等のあきらめムードも強くなっている。しかし、今後の反対運動の広がりと言署名活動が重要です。

守る会は、事業者の環視と県・市の指導体制が機能しているか等を監視・検証して行くとの報告があった。千葉県連も今まで以上の取組みが必要になると思います。今後のポイントは、地元住民のメガソーラー反対運動の盛り上がりが大事であると感じました。

池田地区で進む
太陽光発電所 建設計画

止めよう!

2019.5.10 発行

メガソーラー通信

No.6

鴨川の山と川と海を守る会 [連絡先]E-Mail : kamogawa.mamoru@gmail.com / TEL : 080-1009-6222 (勝又)

業者に、イエローカード!!

許可取り消し
の可能性も



県、条件付き開発許可

鴨川メガソーラー 説明会など開催指導

鴨川市の山林で進む全国最大級の大規模太陽光発電施設(メガソーラー)を建設するための林地開発計画について、県は25日、森林法に基づき、違反した場合は許可取り消しもある4項目の条件付きで許可し、発表した。県の林地開発では条件付きの許可は初めて。住民の理解を得るため、行政指導し現地での説明会や見学会の開催も求めるなど「異例」の対応となった。

県森林課によると、事業区域250haのうち146haを開発。造成の計画期間は2021年4月末までの3年間で、造成後、出力100メガワット、47万枚の太陽光パネルを設置する予定だ。

許可条件や行政指導は、県森林審議会が答申に盛りこんだ条件などを反映した。許可条件は、現地の土砂が盛り土に適しているか、現地試験で県の確認を得ることや、工事で伐採した木などが下流で災害を引き起こさないよう適切に処理することなど。

さらに、事業者との協議で、事業区域内を緑地として残す森林率は県基準(25%)の2倍近い48・9%、防災調節池では50年に1度の

4月25日(木) 朝日新聞

の大雨に対応可能と、県基準の30年に1度より厳しくできたという。県も、着工後は業者に毎月、工事の進行や記録写真などの提出を求め、防災調節池や盛り土などを中心に、県南部林業事務所が週1回、森林課が月1回、現地を定期巡視するなどの監視体制をとる。説明会や見学会の開催について、事業者は「対応していきたい」と話している。県森林課は「ある程度準備が整う梅雨入り前、6月ごろまでには開かれるのではないか」と話している。(寺崎省子)

5 団体、強く抗議!!

- ・鴨川市漁業協同組合 ・鴨川サーフインクラブ
- ・安房淡水漁業協同組合 ・鴨川里山を守る会
- ・鴨川の山と川と海を守る会

上記5団体が3月22日に提出した「慎重な再調査と再審査を要望する『緊急要望書』」に回答や説明のないまま、県は許可を下しました。

この暴挙に対して、5団体で強く抗議し改めて「要望書」を提出します。

外房(太平洋)

鴨川市街

60mの山を削り、80mの谷を埋める
10tダンプ 220 万台分もの土砂移動量

元鴨川有料道路



※ 事業概要

- ・事業名 池田地区メガソーラー事業
- ・場所 元鴨川有料道路西側、鴨川市池田地区
- ・広さ 事業地 約 250ha(当初より縮小)
森林伐採面積 約 146ha
- ・パネル枚数 約 50 万枚
- ・太陽光パネル出力 約 130MW
- ・事業者「AS 鴨川ソーラーパワー合同会社」
本店東京 職務執行者 高山知也
稼働中・計画中のものでは国内第 5 位、
内陸部では日本最大と言われる規模!

市と事業者間の協定にも、イエローカードを！

鴨川市「要望履行を」

鴨川市は県から林地開発許可を受けた「AS鴨川ソーラーパワー合同会社」と市側が求めている5項目の要望を確実に履行することを着工要件とする協定を結んだ。締結は3月19日付。25日に開いた定例記者会見で亀田郁夫市長が明らかにした。太陽光発電施設を規制する法律がないなか、計画を不安視する市民の声に応えるために市が独自に結んだ。

協定は地域の良好な環境と市民生活の安全確保が目的で全7条。これまで不明確だった事業体については1条で「合同会社は、林地開発行為の許可を受けた後、着工の10日前までに事業管理・運営する事業体の具体的な構成を書面で通知・説明する」とした。資金計画についても、着工10日前に市に書面で通知する

4月25日(木) 朝日新聞

とした。発電事業終了後の撤去費用については合同会社が「設備・工作物などの撤去および処分を確実に実施するため、建設費の5%以上を積み立てる」としている。さらに事業区域内に生息するイノシシやサルなどが拡散して近隣住民に被害を与えないよう、敷地境界付近に有害獣対策用のフェンスを設置することや、土砂の流出を防ぐなどの工事の安全性確保も申し合わせた。(川上真)

ますます不安・疑念が・・・

許可は下りたが、審査基準はあくまでも4要件(災害防止・水害防止・水源の涵養・環境の保全)のみで、ソーラーパネル等の発電設備や景観などは審査されないで沢山の課題が山積み。

県・森林課は管理・監督を強化すると言っているが、造成工事中のみである。

- ◇ 事業中は事業者が、事業終了後は地権者が未来永劫、管理し続けなければならない山に改変。管理を怠れば災害・水害を誘発の恐れ。
 - ・盛土、約1300万m³の造成地の管理、
 - ・3か所の調節池の土砂の浚渫、補修などの管理
- ◇ 36万5000本の樹木の伐採による保水力の低下で土砂の崩落・農業用水の枯渇の恐れ。
- ◇ 固化材・チップ接合材・定着剤・浸食防止剤・基盤材(化学物質?)などの大量使用による河川の水質悪化の恐れ。
- ◇ 約47万枚のパネルの反射光・反射熱による環境への悪影響の恐れ。破損の場合の火災の発生・有害物質流出の恐れ。

3月19日、市と事業者が「鴨川市田原地区における太陽光発電事業工事着工に関する協定」を締結しました。昨年4月に市長が提起した「5項目の要望」を事業者に遵守させることを目的とした協定ですが、内容には首をかしげざるを得ません。たとえば……

事業者の実態を精査する時間が確保されていません

事業者の実態は未だに一切公表されていません。協定では、事業体構成や資金計画を「工事着工の10日前までに書面で通知する」としていますが、これでは中身を精査・評価する時間は全くありません。

有効な有害獣対策が取られるのかが疑問です

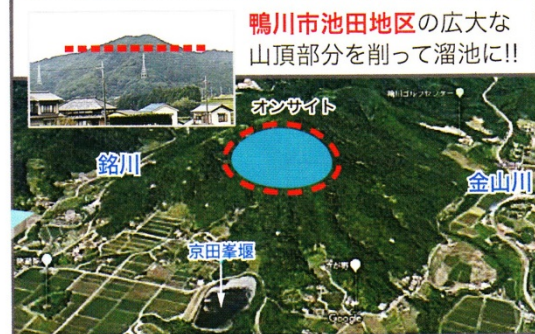
計画地周辺住民は有害獣の問題を強く懸念する声を上げてきました。協定では「本件工事に先行して対策を行う」とありますが、具体的な対策内容と効果の検証方法には全く触れていません。

- ◆ フェンスの設置場所、形状、設置方法、保守管理方法は？
 - ◆ フェンス設置後の効果の測定を誰がどのように行うのか？
 - ◆ それらを市はどのように精査・検証するのか？
- 真に有効な対策無しの約束は形だけのアリバイ作りにすぎません。

市の不誠実な態度に抗議します

市は4月24日に市議を招集して協定締結を発表。1ヶ月以上事実を伏せた上での、林地開発許可が出る前日の駆け込み公表でした。締結前に議会に協定内容を諮り、実効性のある物にするための議論を行う必要があったのではないのでしょうか。この計画に反対する多くの市民や地域団体に対して、これはあまりにも不誠実な態度です。

オンサイト(調節池)の造成計画



カンパ、ご支援、ご協力をお願いします。

農、漁、観光業、そして市民生活の将来への影響が懸念皆さんと共に、問題のメガソーラー建設計画を止めよう!!

鴨川の山と川と海を守る会

<http://mamorutsudo.jp>

★フェイスブック

<https://www.facebook.com/kamogawa.mamoru/>

<振込先> ゆうちょ銀行 00240-2-105182 鴨川つどいの会(鴨川の山と川と海を守る会)

[連絡先] E-Mail : kamogawa.mamoru@gmail.com / TEL : 080-1009-6222 (勝又)

ネット署名 <https://goo.gl/Bj29HQ>



2019 全国ハイキング学校

山でのスマホ活用術
「1」から教えてくれるよ

★日時 9月28日（土）13：00
～29日（日）12：00
★会場 東京・府中市
ホテルコンチネンタル府中
東京都府中市府中町1-5-1



裏面に申し込み書

★参加費 9,000円（1泊2食付き）

★学習内容

- ①山岳遭難は自分ごと—安全に登山・ハイキングを楽しむために
北島英明氏（日本山岳救助隊代表）
豊富な山での救助体験から、事故防止のために何が大切な、わかりやすく解き明かす。
- ②最新の山道具の知識
笹原芳樹氏（カモシカ・スポーツ 「登山時報・オススメ山道具」執筆者）
山の道具はどんどん良くなる。あなたは、どれだけ知っていますか。
- ③山でスマホを活用しよう—「1」から教えます
阿部哲也氏（全国連盟理事 香川県・さぬき山歩会）
山での地図の使い方と現在地確認法、これから天気はどうか？
電池を長持ちさせるには… その他

★募集 30名
先着順で定員になりしだい締切

※交通

新宿駅より京王線特急電車
（乗車券のみで乗れる）で
20分 府中駅より徒歩3分



主催：日本勤労者山岳連盟（ハイキング委員会）

申込み先 日本勤労者山岳連盟 ハイキング委員会 （FAX・メールでOK）

〒 162-0814

東京都新宿区新小川町 5-24

TEL : 03-3260

FAX : 03-3235-4324

メール : jwaf@jwaf.jp

注 定員 30名先着順・定員になり次第締め切りです。
近くて参加しやすいのですが、申し訳ありません。
（苦情は、[広木まで danphiro@zpoat.plala.or.jp](mailto:danphiro@zpoat.plala.or.jp)）

県連たより

千葉県勤労者山岳連盟（千葉労山）

◎ 県連盟事務所

〒262-0033

千葉市花見川区幕張本郷 1-29-18

レジデンス幕張台 101 号室

TEL・FAX： 043-306-1190

Eメール：rousanchiba@grape.plala.or.jp

JR総武線幕張本郷下車、海側 徒歩5分
(県連事務所に常駐者はいません)

ご意見・問い合わせは、下記をお願いします。

- ・千葉県連ホームページ：

事務局への問い合わせ

- ・又は：danphiro@zpost.plala.or.jp

◎ 会員の事故一報送付先

Eメール：教遭委員長・伊東 春正

：itou2385@yahoo.co.jp

FAX：教遭副委員長・広川 登志男

：0438-36-7219

全国連盟事務局にも必ず送付する事

Eメール：jwaf@jwaf.jp

FAX：03-3235-4324

◎ 連盟費振込み先

郵便振替口座

00160-3-481509

千葉県勤労者山岳連盟

**◎支援海産物販売はちょっと
お休みします。9月より開始
します。**

**会行事等で必要な場合は
広木まで連絡を下さい。**

danphiro@zpost.plala.or.jp

090-8316-2020

◎「ちばニュース」

・原稿送付先(機関紙委員会)

戸石 m-toishi@min-iren-c.or.jp

種蔵 tanekura@gmail.com

広木 danphiro@zpost.plala.or.jp

- ・ワード A4・2ページ位、

明朝12m、余白は全て25m

PDFなど、特別な加工はしない

出来れば、写真を2・3枚付けて

くれると有りがたいです。

- ・夏山山行報告を送って下さい。

【編集後記】

- ・ちばニュースへの投稿をお願いします。

6月号は、投稿が少なく残念でした。山行報告は市川山の会からの1通です。
どんな山行でも結構です。出発～頂上～下山にとらわれずに印象に残った所
だけ切り取って下さい。頂上でのランチタイム、仲間の弁当は？ コンビニ
弁当が多い訳は？ 行き帰りのお風呂事情、一押しの飯どころ・・・

- ・各会の総会資料、会報、記念誌等の提供のご協力をお願いします。

県連活動の資料にします。理事会に持参して下さい。(まだ0です)

- ・各会は総会も終わり、新体制で活動をスタートしていると思います。

県連役員は相変わらず変更ありません。引き続きよろしくお願いします。

- ・理事会でも連絡しましたが、2019年度の会役員、県連選出委員などの
名簿の提出に協力をお願いします。

全役員でなくて結構です。県連よりの連絡やお尋ねの時に必要となります。

個人情報の問題もありますが、最低限で結構ですので協力をお願いします

県 連 活 動 予 定 表

7		行事予定	6		行事予定
1	月	県連役員会	1	土	
2	火		2	日	
3	水		3	月	県連役員会
4	木		4	火	
5	金		5	水	
6	土	全国自然保護講座	6	木	
7	日	(徳島県・神山温泉)	7	金	
8	月		8	土	
9	火	ハイキング委員会	9	日	
10	水		10	月	
11	木		11	火	女性委員会
12	金		12	水	
13	土		13	木	
14	日		14	金	機関紙委員会
15	月		15	土	
16	火	全国役員会	16	日	
17	水		17	月	
18	木	県連理事会	18	火	全国役員会
19	金	ハイキング委員会	19	水	
20	土		20	木	県連理事会
21	日		21	金	
22	月	教遭委員会	22	土	全国理事会
23	火		23	日	
24	水		24	月	教遭委員会
25	木	全国理事会	25	火	
26	金		26	水	
27	土		27	木	
28	日		28	金	
29	月		29	土	全国組織担当者。理事長会議
30	火		30	日	
31	水				

発行者：千葉県勤労者山岳連盟

〒261-0013 千葉市花見川区幕張本郷 1-29-18

レジデンス幕張台 101号室

TEL・FAX 043-306-1190 (常駐者はいません)

発行責任者：広木 国昭(danphiro@zpost.plala.or.jp)

問い合わせは:千葉県連ホームページ・事務局への問合せまで